第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）
戦況用紙

日時　2019年1月31日（木）
場所　山鹿市総合体育館（Ａコート）
回戦　３回戦

A	16	トヨタ紡織九州 レッドトルネード （ＪＨＬ）	○	26	13 - 14 13 - 11	25	●	北陸電力 ブルーサンダー （ＪＨＬ）

戦況	前半	トヨタ紡織が田中のミドルシュートで得点を挙げると、北陸電力は川島がステップシュートを決めるなど、開始早々から激しいディフェンスと両チームのＧＫの好セーブで、拮抗した展開になる。北陸電力が7分過ぎから竹内らの3連続得点で2点リードしたところで、トヨタ紡織がすかさずタイムアウトを要求し、すぐに2連取して同点に追いつく。北陸電力は10分過ぎからディフェンダー・銘苅を投入、守備の安定化をはかるが、得点が伸びずになかなか突き放すことができない。その後も互いに点を取り合うも、前半終了間際に藤坂がスカイプレーからシュートを決め、北陸電力が1点リードで前半を折り返す。
	後半	北陸電力は後半開始早々、松島のサイドシュートでリードを2点に広げる。一方、トヨタ紡織は後半から田中をセンターオフェンスにコンバート、すると金、李の両ＢＰとＰＶ・酒井に安定したパスが供給され、攻撃にリズムが生まれ、同点に追いつく。しかし、北陸電力も豊富な運動量で攻撃の手を緩めず、久保、川島らの得点でリードを許さない。24分過ぎ、トヨタ紡織が梅本のサイドシュートで1点リードしたところで、北陸電力はこの試合2回目のタイムアウトを請求。攻撃の確認を行うと、松浦がゴールを決めて同点に追いつく。しかし、最後は4連続得点目となる梅本のサイドシュートがゴールネットを揺らして勝負あり。トヨタ紡織が接戦をものにした。

記入者　　三村　圭司